

学校評価アンケート集計結果と比較・考察

○アンケート回収総計679(全家庭数770)・・・回答率88.2%
○3.5以上を斜線、3.0未満を網掛

問1 学年・学級目標を意識して学校生活を送ることができている。		校長の経営方針を理解し、学年・学級経営に生かそうと努めた。	学校の教育方針に共感でき、教育活動全般に満足している。
児童平均	教師は、経営方針をもとに学年・学級目標を定めて指導を行っているが、児童・保護者への浸透については、まだまだ努力する必要がある。「わかりやすい」「伝わりやすい」目標をもとに、指導を続けていかなければならない。	3.4 ←教師平均	3.1 ←保護者平均

問2 学習中は、先生や友達の話をよく聞き、自分の考えを積極的に発表することができている。		学力の向上、小中連携に向けて積極的に取り組んだ。	学校は、特色ある教育活動(学力の向上・小中連携・開かれた学校)を行っている。
児童平均	児童の自己評価が低い点気になる。話を「聞く」ことができて、「聴く」ことができていない子どもが多いのではないだろうか。また、自信をもって発表できていないことも低評価につながっていると感じる。学習に対して積極的な取り組みができるよう、学習のきまりについての統一を図ることも考えられる。	3.3 ←教師平均	3.0 ←保護者平均

問3 いじめを「しない」「させない」ように努力している。		いじめのない学年・学級作りに取り組んだ。	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。
児童平均	職員、児童の評価から考えると、いじめ対策については浸透しているように思える。今後は、保護者や外部に対して、どのような取り組みをしているのかを明確にして知らせる工夫が必要がある。	3.6 ←教師平均	3.0 ←保護者平均

問4-1 休み時間は、次の学習の準備をすませ、チャイムが鳴ったら席についている。		校内外問わず、児童の生活面の指導をきちんと行った。	学校は、校内外問わず生活面の指導をきちんと行っている。
児童平均	ほとんどの子どもはできているようだ。学習の基本として、時計を見て行動し、チャイムと同時に始まるの挨拶ができるようさらに指導をしていかなければならない。	3.4 ←教師平均	3.1 ←保護者平均

問4-2 靴箱の靴をそろえたり、トイレのスリッパを並べたりすることができる。		校内外問わず、児童の生活面の指導をきちんと行った。	学校は、校内外問わず生活面の指導をきちんと行っている。
児童平均	委員会の取り組みで、「靴箱の靴が並んでいる学級」を校内放送にて紹介している。その成果もあり、意識が高まっているようである。トイレのスリッパを並べることについては、児童の意識に差がある。少しずつではあるが、進んで並べている子どもも見かけるようになった。	3.4 ←教師平均	3.1 ←保護者平均

問4-3 忘れ物(学習用具・はてなぼ など)をしないように気をつけて生活している。		校内外問わず、児童の生活面の指導をきちんと行った。	学校は、校内外問わず生活面の指導をきちんと行っている。
児童平均	忘れ物に気をつけてはいるようだが、名札に関しては、つけていない子どもが多いように感じる。また、特定の子どもが常に忘れ物をしている場合も多々あるので、今後も引き続き、家庭と連携をとっていかなければならない。	3.4 ←教師平均	3.1 ←保護者平均

問5 家庭学習(宿題・自主学習)に毎日取り組むことができている。		学習内容の定着を図るための課題(宿題・自主学習)を出した。	学校は、学習内容の定着を図るための課題(宿題・自主学習)を出している。
児童平均	数値からいくと、教師はしっかり課題を出し、家庭でも保護者の協力が得られているように見える。しかし、忘れ物と同じく、特定の子どもが宿題をやってこないという場合が多いので、今後も家庭との連携が必要である。	3.5 ←教師平均	3.4 ←保護者平均

問6 先生は、勉強をわかりやすく教えてくれる。		児童理解に努め、個に応じたわかりやすい授業づくりに努めた。	教職員は、子どもをよく理解し、個に応じたわかりやすい授業を行っている。
児童平均	児童の評価は高い。しかしこれが確かな学力に結びついているかという疑問が残る。学力調査の分析結果をもとに、本校の弱い部分(課題)を底上げできるよう、職員間での共通理解が必要である。	3.3 ←教師平均	3.2 ←保護者平均

問7 先生は、がんばったことや善い行いをほめてくれる。		一人ひとりの子どもの能力や特性に応じた対応をし、伸ばそうと努力した。	教職員は、努力を認め、子どもの能力に応じた対応をし、伸ばそうと努力している。
児童平均	児童の評価は高い。がんばれば褒めてもらえるという意識をもっているので、教師も意識してよい部分をほめるように心がけたり、達成感を味わう体験をさせたりして自己肯定感を高めていきたい。	3.2 ←教師平均	3.3 ←保護者平均

問8 先生は、困ったときなどに話を聞いてくれる。悪い言葉遣いや行動を指導してくれる。		子どもの悩みや相談ごとに親身になって応じた。	教職員は、子どもの悩みや相談ごとに親身になって応じている。
児童平均	児童の評価は高い。しかし、保護者の評価から考えると、「話を聞いてくれない」「悪いことを指導してくれない」と感じている保護者も少なからず見られる。教師の結果が4.0になることを目指して、すべての子どもに親身になって接することができるよう努力しなればならない。	3.3 ←教師平均	3.2 ←保護者平均

問9		家庭への連絡や報告をきめ細やかに行った。	教職員は、家庭への連絡や報告をきめ細やかに行っている。
児童平均	どの職員も連絡や報告をしっかりと行っている場面をよく見かける。保護者が「知らなかった」とならないよう、今後もすぐに連絡や報告をしていかなければならない。併せて管理職への報告、同学年間での相談を適宜行うようにしていく。	3.3 ←教師平均	3.3 ←保護者平均

問10 毎日楽しく登校している。		子どもたちは、好ましい友達関係があり、楽しく登校している。	子どもたちは、好ましい友達関係があり、楽しく登校している。
児童平均	児童の評価は高い。「学校が楽しい」と思えることは大変よいことである。しかし、本校では不登校傾向にある児童が微増ってきているので、欠席日数が増えている児童には個別面談を行うなど早めの対応を行わなくてはならない。	3.1 ←教師平均	3.4 ←保護者平均

問11	だれに対しても、気持ちのよいあいさつや言葉遣いをしている。	子どもたちは、誰にでも気持ちのよいあいさつや言葉遣いができている。	子どもたちは、誰にでも気持ちのよいあいさつや言葉遣いができている。
児童平均	教師、保護者とも評価が低い。地域で交通指導をしている際も「あいさつができていない」と感じている方が多いようである。校内でも、進んでできる子どもは少ない。また、あいさつを返すことすらしない子どもも目につく。すべての職員が粘り強く指導していく必要がある。また、学級懇談会などで、保護者にも話題を提供し、協力を呼びかけていく。		
3.2		2.5 ←教師平均	2.8 ←保護者平均
問12	歯磨きや手洗い、うがいなどがしっかりできている。	子どもたちは、健康に気がけている。(歯磨き・手洗い・うがい など)	子どもたちは、健康面に気がけている。(歯磨き・手洗い・うがいなど)
児童平均	児童の評価と教師の評価に開きがある。子どもたちはできていると思っていても、週の初めに歯磨きセットを忘れて来る子や、トイレのあとで手を洗わない子も見られる。家庭と連携をとりながら、さらなる意識付けを図っていく。本校では年度途中から「あいうべ体操」に取り組むようになった。継続していくことで、健康な生活を意識させたい。		
3.4		2.8 ←教師平均	3.1 ←保護者平均
問13	地域の行事に積極的に参加している。	子どもたちは、PTAや地域主催の行事等に進んで参加している。	子どもたちは、PTAや地域主催の行事等に進んで参加している。
児童平均	児童、教師、保護者ともに低い評価となった。どのような行事が行われているのか知らない子どももいるのだろうが、習い事や試合等で参加できない場合も考えられる。伝統的な地域行事も多い地域なので、学校でも随時知らせるようにしていきたい。		
2.9		2.6 ←教師平均	2.8 ←保護者平均
問14	清掃や当番の仕事をがんばっている。	学校は清掃が行き届き、学習するのにふさわしい環境になっている。	学校は清掃が行き届き、学習するのにふさわしい環境になっている。
児童平均	児童の評価と教師の評価に開きがある。隅々まで行うことや、助け合いながら活動を行うことまでできるよう指導を続けていかなくてはならない。また、本校で取り組んでいる「無言掃除」を徹底させていく。		
3.5		2.7 ←教師平均	3.2 ←保護者平均
問15	安全に気をつけて学校生活を送っている。(道具の安全な使い方・正しい廊下歩行など)	学校は、校内の危険箇所への配慮があり、安全に生活を送ることができる環境を整えている。	学校は、校内の危険箇所への配慮があり、安全に生活を送ることができる環境を整えている。
児童平均	委員会の取り組みで、廊下に折鶴をおいたことにより、多少落ちていて廊下歩行ができているようになった。しかし、階段の通行時においては、騒がしいと感じることも多い。校内での大きな怪我は少ないが、今後も安全点検をしっかりと行い、安全な学校施設になるよう工夫していく。		
3.4		3.0 ←教師平均	3.2 ←保護者平均
問16	友達の嫌がることを言ったりしりせず、だれとでも仲良くしている。	学校では、命や人権を大切にする教育に積極的に取り組んでいる。	学校では、命や人権を大切にする教育に積極的に取り組んでいる。
児童平均	本校児童は、総じて優しい子どもが多いように感じる。しかし、メディアの影響か、乱暴な言葉を使ってしまう、指導を受けることがある。発達段階に応じて、「ふわふわ言葉」が増やせるような取組を今後も続けていかねばならない。		
3.4		3.2 ←教師平均	3.3 ←保護者平均
問17		学校は、ホームページや学校だより、学年だより等で学校の様子をわかりやすく伝えている。	学校は、ホームページや学校だより、学年だより等で学校の様子をわかりやすく伝えている。
児童平均	ホームページは定期的に更新されていて、利用している保護者も多いようだ。通信に関しては、学級により頻度が大きく異なるが、さまざまな方法(連絡帳等)で様子を伝えているようである。		
3.3		3.3 ←教師平均	3.2 ←保護者平均
問18		学校は、学校行事等で、保護者や地域の人たちが、来校する機会を多く設けている。	学校は、学校行事等で、保護者や地域の人たちが、来校する機会を多く設けている。
児童平均	授業参観は、ほぼ毎月行われているので、保護者の来校機会は多い。中には、回数が多いという声もあがっていたが、様々な場面での子どもたちの様子を見ていただきたいと考えている。地域の方に見ていただく「学校開放」ということに関しては、近年の防犯事情もあり、難しいように感じる。そこで、各学年で地域の方との交流の機会を設けることを推し進めているようだ。		
3.5		3.5 ←教師平均	3.3 ←保護者平均
問19		学校は、地域の行事をよく理解し、協力している。	学校は、地域の行事を理解し、協力的である。
児童平均	青少年健全育成会の各部に小学校代表の担当を置くことで、さまざまな行事を把握することができるが、案内等がなければわからない地域行事もある。地域の方との連絡体制をしっかりと整え、地域行事の紹介や参加ができるよう努力していきたい。		
3.2		3.2 ←教師平均	3.3 ←保護者平均
問20		学校は、地域と連携をとり、校区内の安全や交通事故防止に配慮している。	学校は、地域と連携をとり、校区内の安全や交通事故防止に配慮している。
児童平均	登下校時の見守り、引率を積極的に行っているため、地域の見守り隊の方々との連携はとりやすい。通常とは違う日程時(悪天候時、短縮時)の際も、しっかりと連絡を取り合っており、子どもたちの安全を守っていききたい。本校は、児童数が多いため、登下校時は正門前が錯綜する。必要以外の保護者の車での来校は極力ご遠慮いただけるよう伝えていく。		
3.4		3.4 ←教師平均	3.4 ←保護者平均